

季節のおはなし・旅便り

November Journey Letter

色づく道に想いを重ねて…

日ごとに深まる秋の彩り、道には木の葉が舞います。

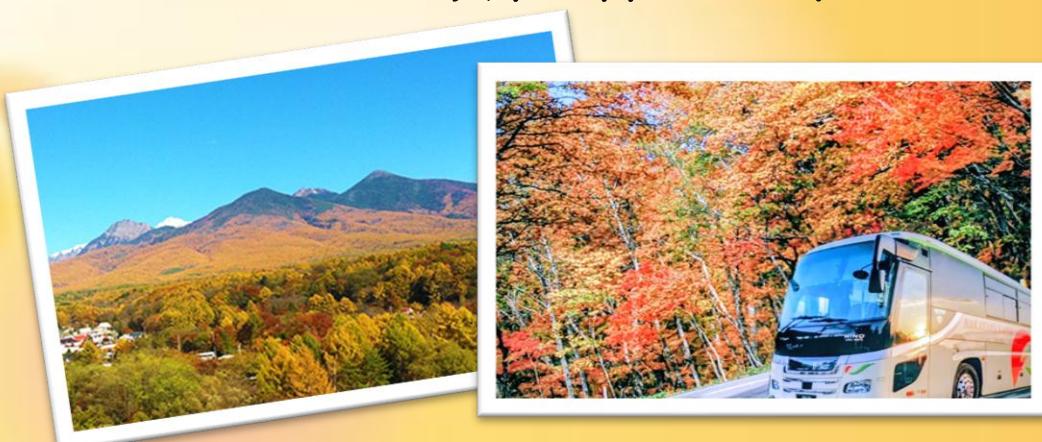
窓の外に広がる景色は、まるで心を包むぬくもりの毛布のよう…

たくさんの出逢いと笑顔に支えられながら

今年も残すところあと2ヶ月となりました。

旅は、心の栄養

この季節も皆さんに、やさしい秋風と温もりをお届けします



中山観光自動車株式会社
NAKAYAMA KANKO





ぬくもりの季節へ…立冬の頃に寄せて

Gentle warmth of November

暦の上では冬を迎える「立冬」

朝の空気にひんやりとした気配が漂い、木々の葉が惜しそうに風に揺れます。

家の中では、温かな湯気が恋しくなる季節…

今年もそろそろ冬支度の頃の頃となりました。

11月5日は「いいりんごの日」

真っ赤に実ったりんごが店先に並び

甘い香りがどこか懐かしい気持ちを運んでくれます。

りんごを丸ごと煮たり、パイにしたり、
小さな手仕事に心が温まりますね。

そして11月7日は「鍋の日」

旬の野菜やきのこを囲んで

みんなでいただく一椀の幸せ…

ふと笑顔がこぼれる、そんな晩秋のひとときです。

暦の上で11月は「霜月」

名のとおり、霜の降りる季節です。

朝の光にきらめく白い庭先…

そこにも、冬の始まりを告げる
静かな美しさがあります。



晩秋から初冬にかけて、春のような陽気が
訪れる日を「小春日和」といいます。優しい陽ざしに
誘われて、どこかへ旅したくなる季節です。



湯気の向こうに、笑顔の輪
みんなで囲む鍋の時間が
心までぽかぽかしてくれます。



甘い香りに包まれて…
手に取るたび、故郷の空と風のぬくもりを思い出す。
小さな実りが冬のはじまりをやさしく告げています。



そっと、冬支度を…
カーテン越しの光がやわらかく揺れて
ぬくもりが静かに暮らしを包みはじめます。



サクサクと音をたてる落ち葉の道
ホウキを動かす手にも、秋のリズム
そんな光景に、昔ながらの情景が残っています



あたたかい飲み物が恋しくなる季節。
アップルティーや生姜湯の香りに包まれて
小さな幸せを見つける瞬間です
晩秋のひととき、お気に入りの椅子に腰かけて
読書をしたり、音楽を聴きながら、
香りと味わいを楽しむ…
自分だけの静かな時間を過ごしたいですね

秋彩をたどる旅路 ① – 山形・宮城蔵王より

Tracing the colors of autumn · Zao,Yamagata & Miyagi



空の青がいっそう深まる頃、蔵王の山々は静かに秋をまとう。

澄んだ空気の中に立つと、風の音さえ澄んで聞こえるようです。

「お釜」と呼ばれる火口湖は、季節ごとに表情を変え、

この時季には透き通るような碧が山肌の紅葉をやさしく映します。

吹き抜ける風にススキが揺れ、木々は赤や黄金に染まり

その風景に立つと、「自然が描く一枚の絵」の中にいるような気持ちになります。

バスの窓越しに広がる蔵王エコーラインの紅葉は、まるで心まで染めてゆくよう…

ひとときの秋につつまれながら旅は静かに次の季節へと続いていきます。



碧の静寂に包まれて…

火口湖「お釜」は季節ごとに

表情を変える、蔵王の象徴！

秋晴れの日、澄んだ空と山肌の

色彩が響き合う



秋彩のエコーラインをゆく



雲の上に続く秋の稜線

風が渡るたび、遠くの山々がゆっくりと色をかえていく

その静けさの中に、旅の記憶が深く刻まれる



カーブを曲がるたびに、景色がまるで絵のように変わっていく

光に透ける木々が、旅人の心をやさしく包み込む

秋彩をたどる旅路 ② ~福島の秋景~

Tracing the colors of autumn,in Fukushima



紅葉前線は山形・宮城から福島へ…

高原を渡る風がやさしく冷たくなり

山々は金色に、湖は群青に染まっていきます。



磐梯山を映す五色沼の水面には、

秋の空と心がひとつに溶けあうよう…

車窓から続くスカイラインの曲線には

旅人の思い出がいくつも重なります。

大内宿の茅葺き屋根と背後の山並みも情緒があり

鶴ヶ城を彩る紅葉のゆらめき。

それはまるで、時の流れの中で輝く“日本の秋の記憶”



秋色のふるさとへ…埼玉・茨城の彩り

Rediscovering the charm of Saitama and Ibaraki in autumn

魅力度ランキングの下位に名を連ねても、訪れてみれば
そこには確かな“ぬくもり”がある…
埼玉の里山に広がる秋桜、秩父のもみじ並木
茨城の霞ヶ浦や筑波山に映る夕暮れの光
どの風景も、静かに季節の美しさを語ってくれます。
華やかさよりも素朴さ…賑わいよりも人のやさしさ…
そんな心の原風景がここにはあります。



花貫渓谷



実りの香りに包まれて
秋の笑顔が広がるひととき



川面に映る紅葉がキラキラ輝き
ライン下りの船頭さんの声が秋風に響く



黄金色の銀杏並木
光のトンネルを歩く幸せな時間



月明りに照らされて
紅葉が光をまとう夜…
水面に映るもみじの影が、
まるで秋の夢を語りかけてくるようです。



北欧の風がそよぐ午後に
湖に映る空と森…
そして微笑むキャラクター達。
ここでは時間もやさしく流れていきます。



幾重にも流れる水が秋陽を受けて輝く…
「四度の滝」と呼ばれる名瀑



実りの秋にありがとう

りんご、柿、さつまいも。

畑の色も、心の色も、やさしく染まる季節
出逢いに感謝しながら旅はまた、冬へとづいていきます
旅の価値は、名の知れた場所だけではありません。
その土地で出会う風、香り、人の笑顔…
それこそが、心に残る“本当の魅力”です。



ケーブルカーの窓越しに見える秋空
茜色に染まる霞ヶ浦…
夕陽が沈むとき旅の終わりが、
次の旅の始まりに変わる…



晩秋の風に包まれて

Embraeed by the late autumn breeze

山の色がどこか懐かしく心に響きます
11月も半ばを過ぎると、木々は色づきを終え
冬の到来を待っています
山間の温泉でひと息ついて、
晩秋ならではの旅を楽しむのもいいですね



軽井沢・雲場池



四万温泉(群馬県)



銀山温泉(山形県)

晩秋の旅は、目に見える景色だけでなく、
五感で味わうぬくもりの季節です。
ゆっくりと季節が歩みを進める中で
旅人の心もまた、静かに次の季節を迎える
準備をはじめます。



水面に映る落葉樹の紅が
晩秋の静けさを象徴します

日本一静かな温泉街とも言われる
山あいの温泉。川のせせらぎを
聞きながら、木造宿のぬくもりにつつまれる
大正浪漫の風情漂う湯の街。
湯けむりの向こうに灯るガス灯の光が
旅人の心を照らす。



奥飛騨温泉(岐阜県)

紅葉に囲まれながら源泉掛け流しの湯を
満喫！奥飛騨の秋の終わりと冬の訪れを実
感…温泉と絶景に癒されるひととき

冬支度のぬくもり

Warm preparations for winter

季節が移ろうたび、旅のぬくもりは心のなかでそっと息づいています。

木枯らしが吹く頃、旅先ではぬくもりを探す旅がはじまります。
ストーブの赤い炎、湯気の立つ鍋、冬の笑顔…
どれも心の中まで温めてくれる、冬ならではの風景です。



ストーブ列車(津軽鉄道)



こたつ舟ライン下り
(長瀬・最上川など)



冬の味覚・牡蠣と鍋



あんこう・かに鍋



昭和の香り漂うストーブ列車
ダルマストーブの上でスルメイカを焼く
香ばしい匂いが車内に満ちて、窓の外には
白い息をのせた雪原が広がります。
レトロな鉄道の旅は、冬の風物詩です

冬の川に浮かぶ“こたつ舟”
川面に映る雪景色を眺めながら
足元のぬくもりにホっとするひととき…
寒さの中にあるやさしさを教えてくれる
冬の風景です



広島や松島では、旬の牡蠣が冬の主役。
ぐつぐつと煮える土手鍋の湯気の向こうには、
旅人の笑顔と「おいしいね」の声があふれます。

北茨城のあんこう、山陰の松葉ガニ…
寒さが深まるほどに、その旨みもまた濃くなる
冬のごちそう。
心までほぐれる味が、旅の終わりを
やさしく包みます。

